

【施設状況】

グループ名称	更北公民館、稲里・小島田・真島分館								
指定管理者名	更北地区住民自治協議会					法人番号			
所管課	主	603200	家庭・地域学びの課	副					
構成施設	3340	更北公民館							
	3338	更北公民館稲里分館							
	3336	更北公民館小島田分館							
	3337	更北公民館真島分館							
施設分類	01	企画型	施設利用者圏域	01	地域施設	利用制適用区分	03	一部利用料金制	
施設概要	【本館】多目的ホール 1、陶芸実習室 1、料理実習室 1、児童室 1、図書室 1、小会議室 1、学習室1~6 各1、集会室 1 【稲里分館】多目的ホール 1、和室 1、調理室 1、集会室 1 【小島田分館】多目的室 1、和室 1、図書室 1、学習室 1 【真島分館】大会議室 1、調理実習室 1、講義室 1、学習室 2、会議室 6								
施設設置目的	公民館は、市町村その他一定区域内の住民のために、实际生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。								
基本方針等	地方自治法(第244条)教育基本法(第12条)の理念に基づく公の施設であることを念頭において社会教育法(第20条、第22条)に定める事業を、利用者の安全対策を図り、平等、公平な運営に努める。								
主な実施事業	・成人学校の開設 ・各種講座の実施 ・講演会 ・展示会の開催 ・図書等を備えその利用を図る ・貸館事業								

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	更北地区住民自治協議会			指定回数	2 回	
指定期間	平成31年4月1日	～	令和6年3月31日	5年	管理運営開始日	平成28年4月1日
指定管理者の健全性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。 また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。					評価
	特記事項 (問題等があった場合に、その内容等を記入)					3

2 施設の有効活用

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)	利用区分等	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	対前年比	評価
	本館 利用者数	人	54,393	65,338	54,637	50,729	93%	
	本館 利用率	%	29.5	35.0	35.1	32.6	93%	
	分館(3館) 利用者数	人	33,830	33,536	31,915	30,197	95%	
	分館(3館) 利用率	%	17.0	18.6	19.9	19.8	99%	
							#DIV/0!	
							#DIV/0!	
(特記事項)								

  

事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案	追加事業、未実施事業及び未実施の理由	3
	市指定事業		<ul style="list-style-type: none"> <li>・更北公民館の利用許可に関する業務</li> <li>・社会教育法第22条に規定する事業の実施に関する業務</li> <li>・更北公民館の設備及び維持管理に関する業務</li> <li>・教育委員会が定める業務や受講料の收受に関する業務</li> <li>・更北公民館の利用の許可、不許可及び取り消しに関する業務</li> <li>・施設、付属品及び物品の維持管理に関する業務</li> </ul>	
自主事業				

  

サービス維持・向上の取組み(広報等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館報 3回/年 発行。ホームページの更新で情報発信を行い公民館活動の広報に努めた。</li> <li>・講座の開催等は、従前の地域への回覧やホームページでの講座の予定を掲載し、新規利用者の増加につなげた。また公民館ロビーに講座やサークルの活動を紹介するモニターを設置し、毎日放映を行い来館者に活動を紹介した。</li> </ul>
--------------------	---

3 利用者評価

利用者評価	区分	内容	評価
	利用者要望把握	<p>(1) 利用者要望把握方法 利用者アンケート</p> <p>(2) 調査、会議等の内容  <ul style="list-style-type: none"> <li>・学級講座ごと受講者を対象に、講座終了時にアンケートを実施した。アンケートには次に希望する講座内容記載欄を設け、利用者ニーズの把握に努めた。</li> <li>・貸館利用へは、利用簿返却時等に聞き取りを実施した。</li> </ul> </p> <p>(3) 調査、会議等の結果                      【実施した各学級講座のうち3講座を抜粋】                      「春・秋寄せ植え講座」 募集64人 受講者58人中56人から回答 満足:100%                      「公民館で夏休み」 募集20人 受講者20人中20人から回答 満足:100%                      「家事のいろは」 募集16人 受講者10人中10人から回答 満足:100%                 </p>	
利用者からの評価・要望・苦情等	<p>(1) 良好とする評価                      「春・秋寄せ植え講座」 講師のトークで笑顔が溢れる楽しい雰囲気とゆるやかな講座でかつ家庭でも活かせるため好評であった。                      「公民館で夏休み」 子どもの居場所づくりとして今年度初めて開催し、学習や工作遊び、安全教室や流しそうめんを行った。学校とは違う仲間で体を動かすことの楽しさを学ぶことができたと好評であった。                      「家事のいろは」 公民館職員が講師を務めた。男性に限定した講座としたことで、男性同士で気軽に学ぶことができたという好評であった。</p> <p>(2) 苦情・改善等の要望事項                      1 駐車場が少ない。                      2 本館の内線電話が使用できなくて不便                      3 稲里分館の多目的ホールが夏場とても暑い。</p> <p>《対応措置》                      1 利用者に限られた台数しか駐車できないことを説明し、更北支所駐車場へ誘導した。                      2 電話交換機の改修を行い、内線同士の通話を可能とした。                      3 クーラー設置については、電力容量不足のため大掛かりな工事が必要になるため、検討中</p>		

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(令和元年度)				市の収支				評価
	年度計画額		収支実績額		令和元年度決算		平成30年度決算(前年度)		
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	
	収入	利用料金 指定管理料 委託料 販売収入等 その他収入	24,608,000   2,066,000	利用料金 指定管理料 委託料 販売収入等 その他収入	24,608,000   2,543,945	歳入	使用料 雑(納付金) 行政財産目的外使用料 貸付料 その他	36,250 31,475 447,188  	
計	26,674,000	計	27,151,945	計	514,913	計	592,679		
支出	人件費 設備管理費 備品購入費 修繕費 光熱水費 事業費 事務経費 本社経費 その他	10,855,139 3,108,521 0 807,408 5,450,001 2,302,175 2,925,689 1,225,067	人件費 設備管理費 備品購入費 修繕費 光熱水費 事業費 事務経費 本社経費 その他	10,802,165 3,190,239 273,052 1,354,334 5,158,572 2,569,986 2,797,612 970,400	歳出	指定管理料 委託料 需用費 役務費 使用料・賃借料 修繕費 工事請負費 備品購入費 その他	24,608,000    28,025  3,430,900  	指定管理料 委託料 需用費 役務費 使用料・賃借料 修繕費 工事請負費 備品購入費 その他	24,197,000  365,341  96,614  556,200  
計	26,674,000	計	27,116,360	計	28,066,925	計	25,215,155		
自主事業	収入		収入						
	支出		支出						
	自主事業損益	0	自主事業損益	0					
損益	0		35,585	差引	-27,552,012		-24,622,476		
人件費比率【人件費(賃金等)／令和元年度指定管理者事業支出】(支出に占める人件費の割合)								39.8%	
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由									

5 管理運営全般 ※すべて  で、「3」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか 配置実績(うち市内雇用職員数) 館長1人(1人)、主事1人(1人)、事務職員3人(3人)	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか		
平等利用	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか		
経理	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか		
施設・備品の維持管理	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか		
セルフモニタリング等	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか		

区分	確認内容	チェック欄	評価	
危機管理体制	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	☑	3	
	2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか			
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか			
	個人情報保護 1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	☑		
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか		☑
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	☑		
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか			

7 地域連携

地域連携	協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由	評価
	地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。		4
	地域の連帯感を醸成し、関係機関、団体等と連携して、地域に根ざした公民館活動の展開を図る。 ①地域住民及び地域の各種団体等を連携を図り、各法人、企業等とも連携協力し事業運営を行う。 ②地域課題の掘り起こしや地域に根ざした生涯学習を企画運営する。 ③区内の人材発掘・育成に努め、可能な限り地元から職員を採用するよう努める。 ④地域公民館との連携に努め、必要な助言指導を行う。 ⑤他施設(社会福祉施設・社会教育施設・観光施設等)と広域的に情報収集や連携交流を図る。	更北地域ネットの活動に協賛し、「ひだまり」を企画し、高齢者の居場所づくりを試み、月1回、計8回開催した。	

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価
指定管理者の健全性	3	6	<p>総合評価</p> <p>指定管理者の健全性</p> <p>施設の有効活用</p> <p>利用者評価</p> <p>事業収支</p> <p>管理運営全般</p> <p>危機管理体制</p> <p>地域連携</p> <p>--- 基準値</p>
施設の有効活用	3	12	
利用者評価	4	16	
事業収支	3	6	
管理運営全般	3	12	
危機管理体制	3	6	
地域連携	4	8	
<b>合計得点</b>			

評価理由	男性限定の「家事のいろは」を今年度初めて企画し、参加者からすぐに家で実践できると好評であった。また多くの事業後でのアンケート結果が好評なことから「利用者評価」を「4」とした。 更北福祉ネットと連携し、高齢者の居場所づくりとして「ひだまり」を初めて企画した。家にこもりがちな高齢者の参加を促し、参加者から「次も来たい。」との声が多く寄せられた。高齢者同士の交流の場となるとともに地域の団体との連携を評価し「地域連携」を「4」とした。
------	--

取組み・改善案等(施設所管課)	前年度からの課題	改善状況	改善案等(改善されていない場合)

次年度の目標・取組み等(施設所管課)	新しい生活用様式を取り入れ、質の高い施設活用、利用者サービス及び地域と連携した事業の実施に努めてほしい。
--------------------	--

指定管理者自己評価

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

・「地域の文化財」というテーマで、地域の歴史研究会が毎月ロビー展及びギャラリートークを実施した。回数を重ねるごとに参加者も増え、施設の有効利用に繋がった。  
 ・「誰もが安心して暮らせる地域づくり」をテーマに、引きこもりがちな高齢者の居場所づくり、更北公民館に集う日「ひだまりの日」を9月から月1回開催している。参加者からは好評で、講座に参加することが楽しみだ。という声も聞かれた。

② 業務の効率化に対する取組み

・年間11,000冊程の利用貸出図書数に対しバーコード管理化が順調に進み、利用集計等効率的に取り組むことができた。  
 ・日頃の経費節減に努め、施設の修繕等施設利用者の利便性向上に繋がるように努めた。  
 ・新規講座開設のために講師との連携を密にし、内容の充実を図った。

③ その他

・更北地区支え合いネットの活動に協賛し、公民館独自の居場所づくりとして「ひだまりの日」を企画した。公民館利用者や地域の方のボランティアを得て市立公民館としての居場所づくりを試みた集会であり、1回あたり20～30人の参加が得られた。

(2) 指定管理者業務実施上の課題

・地域住民の地域づくりへの要望は、ニーズの多様化や地域差などにより把握することが難しい。  
 ・住民自治協議会の役員が毎年交代となるため指定管理者制度に対する理解が深まりにくい。

(3) 総合評価

評価基準

【A】計画や目標を大きく上回る 【B】計画や目標を上回る 【C】計画や目標どおり  
 【D】計画や目標を下回る 【E】計画や目標を大きく下回る

指定管理者  
自己総合評価

B

① 評価理由

新規講座10講座を開催することができたため。

② 次年度以降の取組み

・利用者アンケートに基づき、希望の多い講座を積極的に開講する。また、人数制限により参加できない方を減らすために複数回実施に努める。  
 ・地域の歴史や文化に関わる講座を、地域の人材を活かして企画する。  
 ・児童生徒・子育て世代を対象とした長期(夏・冬・春)休みを活用した講座を開催していきたい。  
 ・「ふるさとを学ぶ」をキーワードにした小・中学校との活動連携を強化していきたい。  
 ・市立公民館の交流センター化についての研究。  
 ・「公共建築物保全マニュアル」に基づく点検を行い施設の適正な管理に努める。